

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102188		
法人名	株式会社アイケア		
事業所名	あいの街篠ヶ瀬 西ユニット(A)		
所在地	浜松市東区篠ヶ瀬町345		
自己評価作成日	令和1年11月25日	評価結果市町村受理日	令和1年12月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2019_022_kani=true&JigyosyoCd=2277102188-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和元年12月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

四季を感じていただけるように行事を多く取り入れています。春のお花見、夏祭り、秋の納涼祭、クリスマス会 お正月、豆まき 施設内には四季の物を飾り1年の流れをより一層身近に感じていただけるように努力しています。時間の許す限り個別ケアを取り入れています。毎日お散歩を欠かさないご利用者様、時間を見て太陽にあたり隣まで歩いたり衣食住だけの満足ではなくより充実したものになるようにと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設から16年を迎える事業所であり、地域、家族と良好な関係を築いてきており、家族からの推薦、紹介で入居となるケースも少なくありません。職員の定着率も高く、比較的利用者も長命なことが特長です。「太陽を浴びる」「笑顔になってもらう」「食事を摂る、運動をおこなう」等を目安に健康な生活を護ることを目指し、そこをベースに利用者の意向を反映させてケアサービスに取り組んでいることが長命につながっているようです。また朝礼は申し送りという意味合いを越え、カンファレンスとなってしまうことも間々あり、40分となってしまうこともあるとのエピソードからも、利用者の心身のリスク予防が日々管理されていることが観えます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼にて理念 社是 スローガンの唱和をし毎日共有している。	「笑顔の見える～」との理念そのものではなく、例えば「穏やかに～」 「楽しみつつ～」といった同様の意味合いを持つものが介護計画書の目標にも盛り込まれ、利用者の目標達成が職員の意識づけと連動しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	畑にいるお隣さん又は庭越しのお隣さんとお話したり散歩で近所を回ったり、運営推進会議に参加していただいたりしている。	地域の秋祭りでは屋台の練りが入ってきてくださっていて、事業所でもおにぎり150個をはじめ豚汁や子どもたちへの菓子等の提供に協力しており、10年近く続く恒例行事に育っていて、自治会に溶け込んでいると事業所では考えています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談に見えられた方に対応、又老人会への協力で他施設紹介している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者の状況又施設の状況を報告したり、相談に乗っていただいている。又得た情報を活躍している。	運営推進会議終了後に身体拘束適正化委員会を開催していることから、一般の人の視点で提言もあがり、身体拘束について共通理解できる場と成っています。また本年は事業所通信で家族に呼びかけており、参加者を増やすよう試みています。	メンバーに配布の資料にはイベントや日頃のレクリエーションの様子などの写真を入れると、なおよいと思います。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に参加いただき事業所の実績取り組みについて協力いただいている。	本年は実地指導があり、「指摘事項なし」「助言事項は2点のみ」という嬉しい結果で、助言事項については速やかに是正しています。介護支援専門員が月1回以上行政窓口へ訪問、集団指導にも必ず参加して連携に努めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を毎年行い又毎朝の朝礼時報告相談を受けその都度伝えている。	身体拘束適正化委員会は運営推進会議後の開催としており、年6回おこなっています。管理者が職員の大変さを受けとめ、注意しても突き詰めないように配慮することで、ストレスフリーの状態にもっていかうとしていることが功を奏して、現場は和やかな雰囲気が保たれています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議にて話し合いその都度注意指導がある。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修にて勉強、成年後見人を立てている人もいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ず重要事項、契約書の説明をし 変更がある時には、説明をして同意書をいただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者には生活の中で意見を聞き家族においては面会時又運営推進会議にて意見要望をお聞きして反映させてる。	居室担当者が手書きで1ヶ月の様子を家族に届け、本人の状態を共有し、地域住民とのふれあいもある秋祭りのほか、クリスマス会にも家族が参加しています。知人、友人、親戚が入居して「紹介で」という利用者が何人かおり、家族からの信頼が厚いことが受けとめられます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々朝礼の中で意見提案を出し合っている。又月1回の会議にも要望等出している。	毎日の朝礼、職員会議で情報共有の場を持ち、特段係は設けていなくても、例えば壁画は得意な職員が中心となり、皆が手伝うという態勢があって、相互に協力しあうことが自然にできています。仲間で相談しつつ遂行できることが増えており、職員の自主性が育っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めている。有給、希望休の確認、施設長会議にても習得させるよう連絡を受けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修又は外部研修への参加日々の中で気が付いた事は伝えていく。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修への参加会社内外の同業者、介護事業者との交流をしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時には寄り添い傾聴する時間をより多く持ち 本人が孤立しないよう又他の利用者と協調出来るよう努める。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント時、必ず時間を作り要望又は困難な事をお聞きしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時様子観察している。その都度職員間で共有、問題点があれば対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員とご利用者は信頼関係にあり共に楽しみ 共に過ごし安心と安全な生活が出来るよう様努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは良好な関係が築けるよう折りに触れ話をしイベント、運営推進会議への参加に協力していただき共にご利用者を支えている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者の部屋には馴染みの物を置き家族知人には積極的に施設の集まりに参加してもらっている。	家族が面会の折に散歩に連れ出してくださったり、カメラが趣味で外出の時にマイカメラで撮影を楽しむ人、信ずる宗教の集まりに出かける人、不定期であっても以前の仕事仲間が足を運んでくださる人、携帯を持っていて家族からの電話を待つ人、それぞれの関係継続がみられます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常にご利用者全員の状態を把握し、流動的に関わり合い支えあう関係が出来るよう支援している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	過去退去した家族から紹介いただいたり、お亡くなりになった時にもご連絡をもらったりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の中で希望等あればお聞きし共有する。又気が付があれば残し職員で共有し出来る事は叶えてあげる。	「太陽を浴びる」「笑顔になってもらう」「食事を摂る、運動をおこなう」等を目安に健康な生活を護ることを目指し、そこをベースに利用者の意向を反映させてケアサービスに取組んでいます。常には自室にこもりがちなもの、体操の時間になるとフロアにでてくる人もいます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシート、フェースシートにて聞き取ったことを、常に確認し共有間違いがあれば正していく		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に変化に気付くと共に支援経過に記録し共有 現状にあったサービスに変えていく。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	会議の中で朝礼の中で変化に機敏に反応出来るよう共有している。時に家族 医師とも相談協力いただき対応している。	朝礼は申し送りという意味合いを越え、カンファレンスとなってしまうことも間々あり、40分となってしまうこともあるとのエピソードからは、職員の熱意とともに観察と気づきの高さが覗えます。またサービス担当者会議は家族にも声をかけ、できるだけ連携をと努めています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活管理表、支援経過に記録又医師からの助言記録等も共有し実践 介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者がいつもベストの状態でいられるよう関係各署とも連絡をとっている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の公園、町内のお宮、花畑 ボランティア 周りの方々の情報をいただきながら活用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	全員往診医であるが、受診時には連絡等支援している。	入居にあたって特段条件を設けていませんが、月2回の訪問診療をおこなう協力医に全員変更しており、「診療録」に診療記録が残されていません。週1回訪問看護事業所から看護師の来訪があり、医師と同法人なこともあって協力医と密に関わってくださっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1にて来施、情報の共有又アドバイスをもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	全員往診医であり 情報の共有が出来又早い段階で予防処置もとってもらえる。長い入院もあまりなく良い関係を築いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	常に家族と連絡を取り状況把握をしていたりしている。その中で本人に一番良い方法をチームにて支援していきたいと思っている。	契約時に契約書の中にある「退去時」の項目において、家族には「常時医療が必要であると…」 「口径摂取が難しいと…」看取りができないことを口頭で説明しています。これまで10数名の看取りに取組み、開設から16年此処で暮らしてきた利用者を昨年お見送りしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡方法対応は常に研修しており緊急連絡はわかりやすい位置に貼っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導のもと、自治会の協力も得て防災、火災訓練を定期的に行っている。	5月、11月実施と年間計画に組み入れ、防災訓練を漏れなくおこなっています。馬込川の決壊があれば被害がある可能性はあるも、概ね大丈夫であるとされている地域ですが、風水害マニュアルの整備もできています。	自治会の防災訓練への参加を期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人のプライバシー確保、人格の尊重をし朝礼時確認共有している。	「言葉遣いに課題が残る職員もいる」と聞いていましたが、目が合えば微笑み、入退室には「失礼します」と声を発する、親切で礼儀正しい職員が大半です。中には新人なのか急ぐと声が大きくなったり、バタバタと早足になる人もいます。	事業所全体の接遇が標準化されるよう、職員間で話し合う機会があることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定出来る方には傾聴し、支援していく。希望の表出を見逃さず希望に添える事は協力していく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴、食事 アクティビティー起床 散歩許す限り希望に沿うようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で出来る決定は自分でして頂きその人らしくおしゃれや身だしなみがキチンと出来るよう支援していく。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しく出来るように意見を聞いたり試食していただく	業者から食材が届き、職員が手作りしています。嚥下状態によってミキサー、とろみ、刻みと工夫し、またペーストの梅干しをご飯の上に乗せてもらうことで食が進む利用者もいます。行事食は例えばお月見ではススキと萩の花を飾り、月見饅頭とちらし寿司を提供しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	支援経過記録、生活管理表にて 把握し 勉強、個々にあった食事の提供をしている。希望する時間に水分補給をしていただく。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアをして汚れ匂いがないようにしている。人により歯科医に往診口腔ケアもしていただいている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	生活管理表にて健康状態を把握して排せつリズムを確認し支援している。	「歩ける可能性があればなるべく歩けるように」と、体操を毎日取り入れて筋肉をつけ、手引き歩行から始めることを重ねて、パットが外れた人、オムツからリハパンになった人、車いすの入居から自力歩行となったりと、向上例があります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の運動を心がけ食事をキチンと摂り排泄を促している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日やタイミングは常に柔軟に対応している。場合によっては清拭、足浴をしている。	1日おきの入浴を清潔の目安とし、重度化しても湯に浸かる喜びを味わってもらいたいとして、必要であれば2人介助に切り替えて、全員が湯船に入っています。実地指導における口頭指導で「(湯温の)温度計を～」とあがっていて、こちらも速やかに設置しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間に睡眠が取れるよう日中、アクティビティー 散歩を取り入れた支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬防止に努め体調変化に注意し的確な服薬を支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備、洗濯干し、畳、掃除などその人の楽しみ方、役割を持てるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花見、イチゴ狩り ドライブ 公園など 四季を通し 外出支援している。家族との外出もある。	決まった時間に散歩に行かないと怒りだす人もいて、その人の気持ちと体力、その日の天気や気温に合わせて散歩を励行しています。夜間ぐっすり寝ていた日の昼間は沢山歩いていたというデータもあがっていて、職員の意識も高まっています。春の遠足といった外出行事もあります。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	人によりお金の所持をしている。お出かけ時使用している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りをしておりはがきを用意したり ポストに投函したりしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓、天窓を開け「風を入れたりエアコンを使って 調節、又季節の飾り物をして四季を感じてもらっている。	クリスマス一色となったフロアは華やかで、またレクリエーションの道具が並び、日頃からアクティビティが盛んなことが伝わります。朝にフロア、トイレ、居室を次亜水のモップで拭きあげて、同じオペレーションで午後もおこない、一般より掃除頻度をあげた取組みです。	全体は清潔ですが、掃除機具や乾燥機の上の埃が目立つため、掃除箇所を見直すことを期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の部屋に入ったり、新聞を読んだりして一人の時間を大事にしている。又2ユニット一緒に過ごす事も多く、中の良い人と団らんしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのあるものを身近に置き自身の空間作りをしている。又ご利用者職員がいつしよになり季節を感じられるような工夫をしている。	洗面台があるため歯磨きセットなども並んでいて生活感漂う居室ですが、持ち込みは多くはありません。中には書斎のようなテーブルと椅子やテレビがある居室も数部屋あり、またベッドは持ち込みや業者リース、布団と自由に選択できます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリー、補助棒を使用 安全に気を付けている。又人によっては入り口に標をつけ自身が自立して過ごせるようにしている。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102188		
法人名	株式会社アイケア		
事業所名	あいの街篠ヶ瀬 東ユニット(B)		
所在地	浜松市東区篠ヶ瀬町345		
自己評価作成日	令和1年11月25日	評価結果市町村受理日	令和1年12月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2019_022_kani=true&JigyosyoCd=2277102188-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和元年12月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

四季を感じていただけるように行事を多く取り入れています。春のお花見、夏祭り、秋の納涼祭、クリスマス会 お正月、豆まき 施設内には四季の物を飾り1年の流れをより一層身近に感じていただけるように努力しています。時間の許す限り個別ケアを取り入れています。毎日お散歩を欠かさないご利用者様、時間を見て太陽にあたり隣まで歩いたり衣食住だけの満足ではなくより充実したものになるようにと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設から16年を迎える事業所であり、地域、家族と良好な関係を築いてきており、家族からの推薦、紹介で入居となるケースも少なくありません。職員の定着率も高く、比較的利用者も長命なことが特長です。「太陽を浴びる」「笑顔になってもらう」「食事を摂る、運動をおこなう」等を目安に健康な生活を護ることを目指し、そこをベースに利用者の意向を反映させてケアサービスに取り組んでいることが長命につながっているようです。また朝礼は申し送りという意味合いを越え、カンファレンスとなってしまうことも間々あり、40分となってしまうこともあるとのエピソードからも、利用者の心身のリスク予防が日々管理されていることが視えます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼をし毎日社是や理念を皆で復唱している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	秋祭りで地域の方と交流したり、利用者や散歩の際挨拶したり声をかけていただいている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	祭り、会議、相談等にいられた時、ご利用者と触れ合っていたり、何時でも施設内は解放していて中にはいってもらっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者、施設の状況説明をし入所者に変化があるときは、相談したりされたりしている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎回出席いただき、状況説明をイベント時の連絡を受けたりしている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修は毎年必ず行い、朝礼時にも細かい連絡を受けたり伝えたりしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修を行う。日々の中で注意しあっている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修にて勉強している。後見人制度を活用している人もいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ず重要事項、契約書の説明をし、変更時には説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々朝礼の中で意見提案を出し合っている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼時、会議時意見交換し反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有給の取得、又希望休を出し合い融通をしてお互い助けあっている。又時間内で終われるよう努力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の受講又ステップアップのため社外研修をしたり本社からトレーニングに来ることもある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修への参加 組合活動への参加にて同業他社とふれあっている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時には寄り添い安心して生活出来るよう家族と相談しながら関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント時必ず家族とあい要望又は困難な事をお聞きし何時でも施設に来ていただけるような関係作りをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	キッチンと家族と話し合いを持って 家族が不安なくご利用者を託せるよう対応につとめている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	時間の許す限り共に楽しんだり安心な生活が出来よう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは良好な関係が築けるよう折りにふれ話しをし、イベント、運営会議への参加に協力いただいている。また篠ヶ瀬便り等でも連絡をいれている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの物に囲まれて過ごされ 又折に触れお電話されたり、来ていただいたりしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に流動的に関わりあえるようユニットを行ったり来たりし席も工夫している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された家族の紹介で入所された方や入所している家族の紹介で入られる方がいる。その方たちのところに退所された方が訪ねてくれる時もある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話の中から聞き取って職員が共有している。困難な場合にも優先して考えるようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェースシートの確認、又ご家族等から再度聞いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々変化しているので経過記録、朝礼での引継ぎ生活管理表にて共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング、医師、看護師職員が共有し作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活管理表 経過記録朝礼時の情報共有にて柔軟に見直ししている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別ケアを常に頭において一人一人がより生活しやすいよう工夫している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公園 お宮 幼稚園地域の方と共に資源活用しご利用者がより豊かに生活出来るように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在全員が往診医であるが、必要に応じて、眼科総合病院皮膚科等に受診している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1にてナースが施設内に来て体調管理を共有している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	全員が往診医であり入退院時すべて共有している。24時間体制で協力いただける体制づくりはできている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	常に情報は共有できるように折に触れ伝えていく。体調変化をご利用者家族が把握していないという事はない。終末期を施設内で迎える方の方が多い		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	24時間ホーム長はTEL対応出来るようにしている。応急手当、初期対応の訓練もし、24時間ドクターとも連絡取れる。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力、指導のもと 年に2回防災訓練火災訓練をしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	守秘義務に基づきプライバシー保護をしている。研修にて接遇マナーについて勉強し実践につとめている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望の表出を見逃さないように職員間で共有し本人の希望に添えるよう努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り一人一人のペースに添ったケアを心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定出来る方は支援し、自己決定出来ない方は、ご家族等にも、協力いただき支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の好みや嚥下状態を把握し食事を楽しめるよう工夫している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活管理表を基に栄養状態の把握し出来るだけ自己摂取出来るよう工夫し医師にも協力いただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアをしている。又歯科医にも往診いただきアドバイスをもらっている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	全員がトイレにて排泄している。自立出来ている方以外は個々のパターンを理解しその方にあった排泄をしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	十分な水分量の摂取とその方の排泄パターンを理解し、医師にも協力いただき予防にとりくんでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々に添った入浴をしている。場合によっては、足浴、シャワーもしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠のリズムが出来るように工夫している。その方にあつたリズムで生活出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬確認を2名の職員で行い誤薬ぼうしに努めている。小さな変化も見逃さないよう医師との連携もしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備、洗濯たみ、出来る事を日々の中でしていただき、お散歩、歌などたのしんでいる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の希望を大事にし、職員と散歩に出かけたり家族と外出したり又地域の方とおしゃべりしたりしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	人により所持している。又希望の物があれば一緒にお買い物に行く。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎日電話している方、電話いただいている方又必要に応じてかけられる方がいる。お手紙をいただく事もあり、職員の手を借りてお出しする方もいる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日朝夕に清掃をおこない居心地の良い空間作りにつとめている。空気の入替え 季節を感じられる壁面作り等なるべく文化的な居心地の良い居住空間が出来るよう努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有部分においてもリラックスして楽しめるよう又 気のあった利用者同士が思い思いにすごしたり好きな場所に移動出来るように工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具道具に囲まれ 安心安全に生活出来るようつとめている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー、補助棒の活用により安全に安楽に生活出来るよう工夫している。人によっては目印などを使い、職員に頼らず自立した生活が出来るよう工夫している。		